

2022年 プログラム近況報告

インド デオガル地域開発プログラム

World Vision

この子を救う。未来を救う。

地域を代表し、皆さまに感謝いたします



チャイルド・スポンサーの皆さま、デオガル地域の弱い立場にある子どもたちへのご支援をありがとうございます。皆さまのあたたかいご支援により、子どもたちを取り巻く環境改善の基礎を築くことができました。

アムラン・クマール・パニ
デオガル 地域開発プログラムマネージャー

180

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、180人の保健員に、マスクや手袋などの感染症対策の個人用保護具が支援されました。

43

地域の43地区で、災害時の対応計画が作成されました。災害が起こりやすい地点や、災害発生時に人的・物的被害を防ぐ方法が書かれています。

インド：日本 出典：国連開発計画（UNDP）2020年

5歳未満児死亡数
(出生1,000人あたり)



36.6



2.5

平均就学年数



6.5



12.8

1日1.90米ドル未満で暮らす人の割合



21.2%



0.7%



「新型コロナウイルスの影響で、地域がロックダウンとなる中、仕事も食べ物もなくなり、子どもたちを養っていけるか心配な日々が続きました。しかし、ワールド・ビジョンから食料の支援を受け、私たち家族は支えられました」

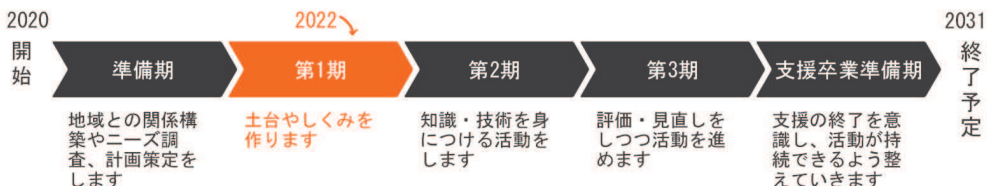
チャンドモニさん、母親（左から2番目）

2

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた人々が、安全に診察や治療を受けられるよう、2カ所の検疫所や隔離所が設置されました。

250

浄水設備につながる給水口（蛇口）が新たに250個設置されました。より多くの子どもたちや家族が、病気を引き起こすことのない清潔な飲み水を得ることができています。



支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

「もう遠くまで水汲みに行かなくてもよくなりました」



「私の村では、みんな水を手に入れるのに苦労していました」とアーティちゃん（7歳）は話します。「村にある井戸は、夏になると乾いて水がなくなってしまうので、子どもたちはみんな、別の村まで、一日に何度も水汲みに行かなければなりませんでした。水汲みに行くととても疲れるので、学校へ行くことはできませんでした。それに、汲んできた水を飲むと、下痢になったりお腹が痛くなったりしていました」

チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援により、アーティちゃんの村に、より多くの水を溜めることのできる新しい井戸を作ることができました。彼女の家は、井戸の近くにあります。この井戸により、年間を通して地域で必要とされる水を供給することができるようになりました。

「もう遠くまで水汲みに行かなくてもよくなりました」とアーティちゃん。「今は、毎日学校に行っています。お友達と遊ぶ時間もできました」

ご支援により、チャイルドと家族の生活に
大きな変化がもたらされています

インド デオガル地域開発プログラム (IND-213843)

2021年度 (2020年10月1日～2021年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	25,805,777
前期からの繰越額	4,578,899
プログラム支援額合計	30,384,676

プログラム支出額	
母子保健・栄養プロジェクト	17,026,180
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	13,335,552
プログラム支出額合計	30,361,732
次期繰越額	22,944

活動内容



母子保健・栄養プロジェクト

- 地域の保健ボランティアの育成およびボランティアによる妊産婦・5歳未満児の家庭訪問活動
- 5歳未満児の栄養改善プログラム
- 妊産婦や子どもの健康・栄養に関する啓発活動
- 地域の医療従事者の研修、水・衛生施設の整備



スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- 子どものライフ・スキル向上活動
- 貧困世帯に対する生計向上活動

*ライフ・スキルとは、問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術のこと。



お問い合わせ先
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL : 03-5334-5351



Eメール : dservice@worldvision.or.jp
ホームページ : www.worldvision.jp

プログラム番号 : IND-213843